

「建設産業ビジョン 2021」（案）に係る  
県民意見募集（パブリックコメント）等における意見と対応について

1 意見の件数  
3件（2人）

2 意見と対応

該当頁	意見の概要	対応方針・考え方
P2	○目指す姿の実現に向け、「確かな競争力を発揮する建設産業」「担い手確保と働き方改革」「建設産業の生産性向上」「災害時に力を発揮する建設産業」の4つの分野に整理し、方向性を示しているが、目指す姿と各分野の関連性を説明して欲しい。	<p>現行ビジョンで示した様々な取組を進める中で顕在化した、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・担い手不足が深刻化していること</li> <li>・建設事業者の技術力・競争力を高める必要があること</li> <li>・若者を含め就業者に選ばれる建設産業となるため労働環境を改善すること</li> <li>・新たな技術を活用し生産性を向上させること</li> <li>・平時や災害発生時のような緊急時でも地域の安全・安心を維持していく上で発注者と受注者が連携した環境づくりが必要であること</li> </ul> <p>という課題を踏まえ、「将来にわたって、社会資本の適切な整備・維持管理、災害時に迅速な対応が行えるよう、その重要な担い手である建設事業者について、技術力・競争力向上が図られつつ、安定的かつ持続的に確保・育成されている状態」を目指す姿に掲げ、先に記述した課題解決に必要な対応を4つの取組分野として設定し、地域の実情に応じたきめ細かな取組を進めることとしております。</p>
P13 他	○成果指標の目標値について、なぜその水準にしたのか、その理由を問う。	<p>新たなビジョンにおける分野ごとの取組を計画期間内でより具体的に実効性を持たせて進めていくため目標値を定めたものです。</p> <p>例えば、分野1においては技術力を測る指標として、建設事業者の施工プロセスや工事目的物の品質、出来栄等を統一的な考えで評価する工事成績評定点を技術力の判断指標として採用し、良好な成績評定点と評価できる80点を目標値としたものです。また分野2においては担い手確保・育成に向け労働環境の改善を進める指標として、週休2日対象工事の発注件数を採用し、全ての工事を週休2日対象工事とすることを目標として設定しています。</p>
P17～18	○担い手確保の1つの方法として、構造物の建設について、着手から完成までの過程を、どのような職種が関わり、どのように作業を進めているか紹介する動画を作成してはどうか。	<p>県では、担い手の確保に向け、建設業の役割等を紹介するDVDを作成し、高校生向けの学校説明会などで建設産業の魅力を発信してまいりました。</p> <p>今後も様々なツールを活用し、建設産業の担い手確保や魅力発信に努めてまいります。</p>